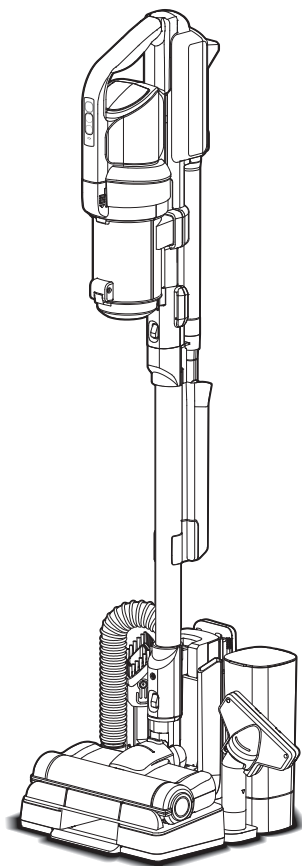


充電式サイクロン スティッククリーナー

SCD-M1P

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

準備	7
使いかた	11
お手入れ	16
製品の廃棄のしかた	19

こんなときには

故障かな？と思ったら	20
保証とアフターサービス	22
仕様	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。

バッテリーについての注意



- 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- バッテリーは分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 内蔵以外のバッテリーを取り付けない
- 指定以外の方法で充電しない
- 本機のバッテリーを他の機器に使用しない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない
- バッテリーを、火に投げ入れたり、加熱したりしない
- バッテリーを、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- バッテリーを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、充電アダプターをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 充電アダプターが異常に熱くなる→ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



水ぬれ禁止

- 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけたり、吸わせたりしない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど）、可燃性のものを吸わせない
- 油煙や湯気を吸わせない
- じゅうたん洗浄剤など、泡状・液状のものを吸わせない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
吸い込むと火災の原因になります。



充電アダプターは正しく使う



- 充電アダプターのほこりは定期的に取り除く。ほこりがたまり、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 充電アダプターはコンセントの奥まで確実に差し込む。ショートによる火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない

感電・やけど・けがの原因になります。



- 充電アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。ショートによる火災・感電の原因になります。

- 定格以外の電圧で使わない。火災・感電の原因になります。

- 乳幼児に充電アダプターをなめさせない。けがや感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。

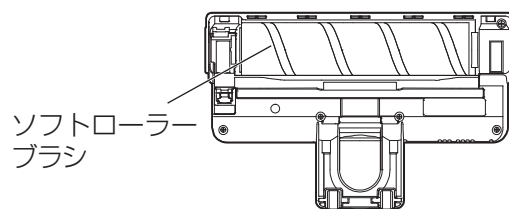
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



接触禁止

- 運転中はフロアヘッドのソフトローラーブラシに触れない

巻き込まれてけがの原因になります。特に、小さな子どものいる近くではクリーナーを使用しないでください。



バッテリーについての注意



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける。引火するおそれがあります。

- 電解液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す。皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。



- 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない

発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。

- バッテリーを廃棄するときは、乳幼児の手の届く所に置かない。感電やけがの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 掃除以外の用途に使用しない。異常動作・火災の原因になります。

- 業務など家庭用以外で使わない。本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外で使っていると、火災などの原因になります。



- 運転中にダストカップを取り外さない。事故の原因になります。



- 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない

- 排気口をふさがない

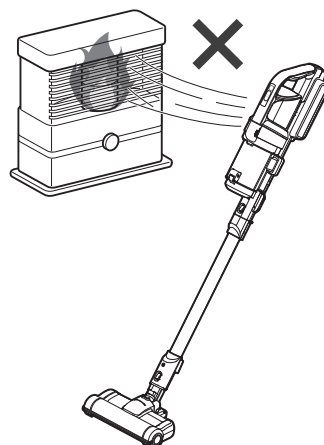
過熱による変形・故障・火災の原因になります。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない

吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。



安全上の注意 つづき



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子どもに遊ばせない
けがの原因になります。
- 屋外では使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



- 充電アダプターを抜くときは、コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く
コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

- | | | |
|----------------------|------------------|------------------|
| ・ 水や液体、ぬれたごみなど | ・ 多量の砂、小石など | ・ 大きなごみ |
| ・ 多量の粉（消火器の消火剤など） | ・ ペットの糞などが付着したもの | ・ ビニール袋やストッキングなど |
| ・ 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど | ・ 多量のごみ | 内部につまりやすいもの |

- ダストカップのごみは、ごみすてライン（目安）を超える前にすててください。

- 本機は防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。

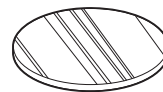
消耗部品について

- 別売品については、お買い上げの販売店またはアイリスプラザでお買い求めください。

静電モップ
（別売品）
CHMO3-W

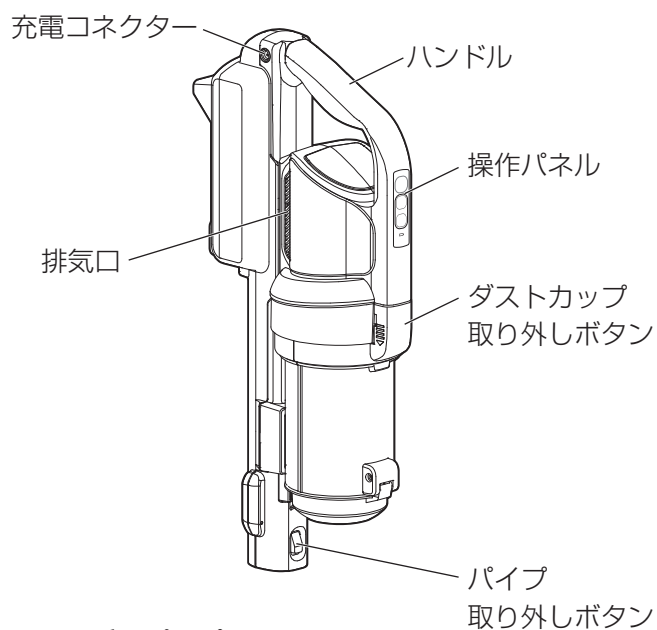


排気フィルター
（別売品）
CFT102

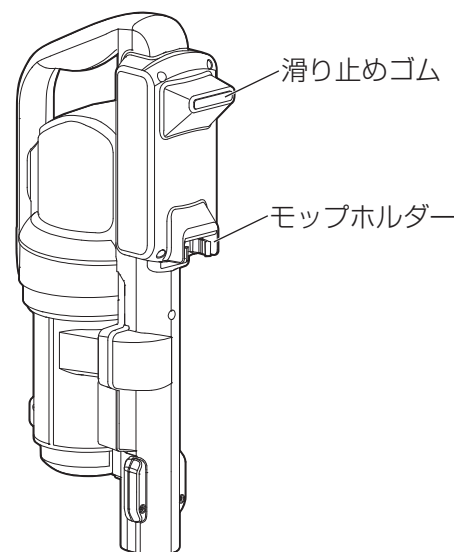


各部の名称

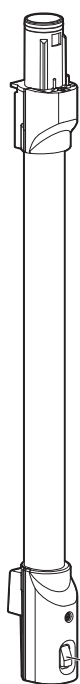
本体



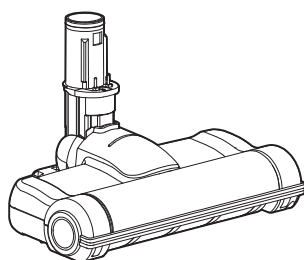
背面



延長パイプ

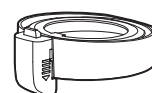


フロアヘッド



フロアヘッド
取り外しボタン

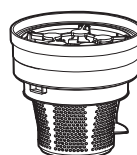
ダストカップ



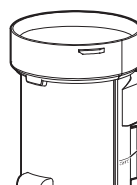
ダストカップ上ケース



排気フィルター



サイクロンユニット



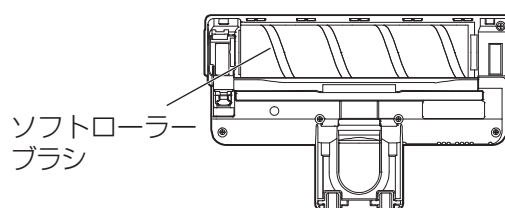
ダストカップケース

ごみすてライン

ごみすてボタン

ダストカップ底ふた

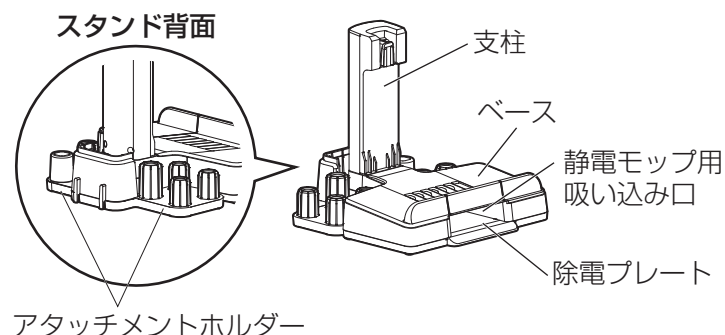
フロアヘッド底面



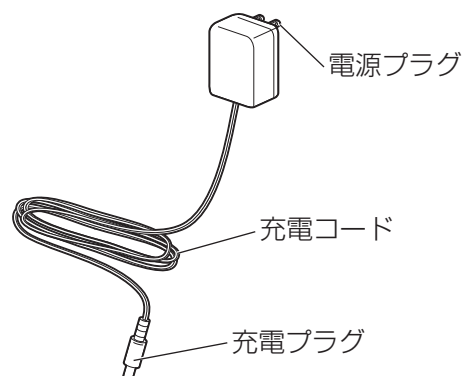
各部の名称 つづき

■付属品

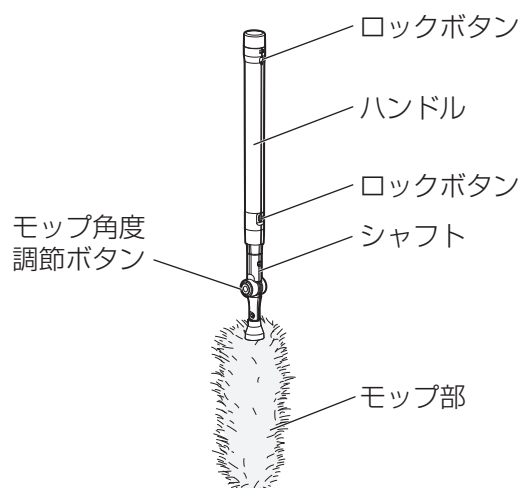
スタンド



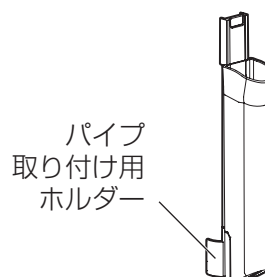
充電アダプター



静電モップ



モップ帯電ケース



すき間ノズル



ブラシノズル



フレキシブルホース



排気フィルター

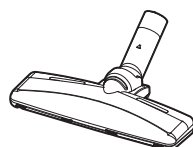


×5枚
(1枚は本体内にセット済み)

ミニヘッド



布団用ヘッド



排気フィルターケース

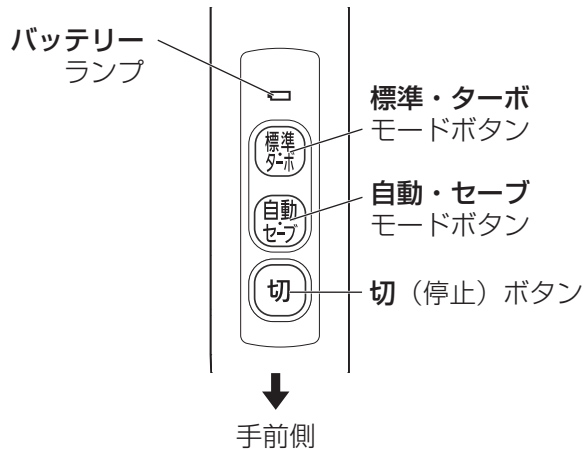


交換用の排気フィルター
を収納します。

※ 排気フィルターケース・すき間ノズル・ブラシノズル・ミニヘッド・布団用ヘッド・フレキシブルホースは、スタンドのアタッチメントホルダーに立てて保管することができます。

準備

■ 操作パネル



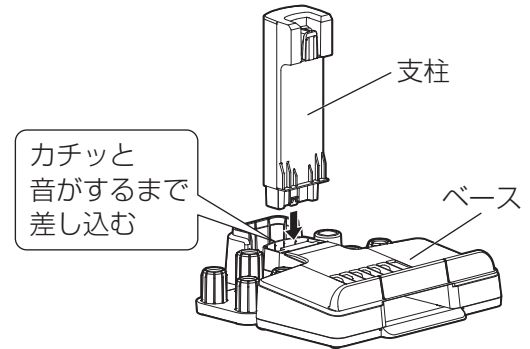
■ スタンドの組み立て



注意

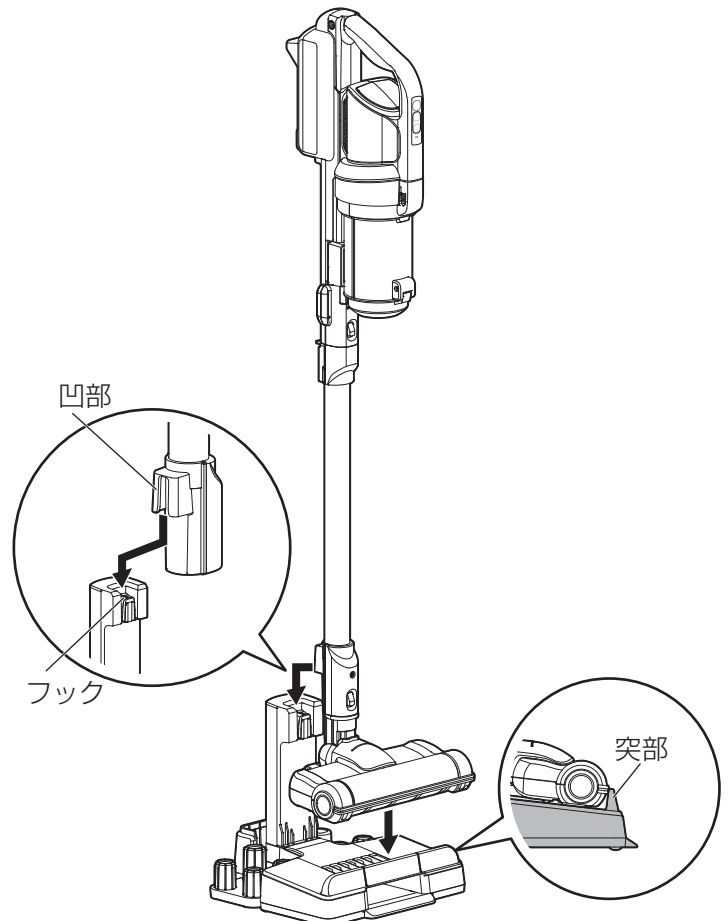
- 必ず壁際で使用する
 - じゅうたんの上など不安定な場所に置かない
 - フローリングなど、固い安定した床の上に置く
- 万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品の破損の原因になります。

- ・ ベースの差し込み穴に、支柱をしっかりと差し込んでください。



クリーナーを立てかける

- ・ スタンドを組み立てたら、クリーナーを立てかけることができます。
 - ・ 立てかけるときは、必ず延長パイプ裏側の凹部を支柱のフック部に差し込みます。
- 転倒防止のため、フロアヘッドの先端をベース前端的突部に当てて立てかけてください。

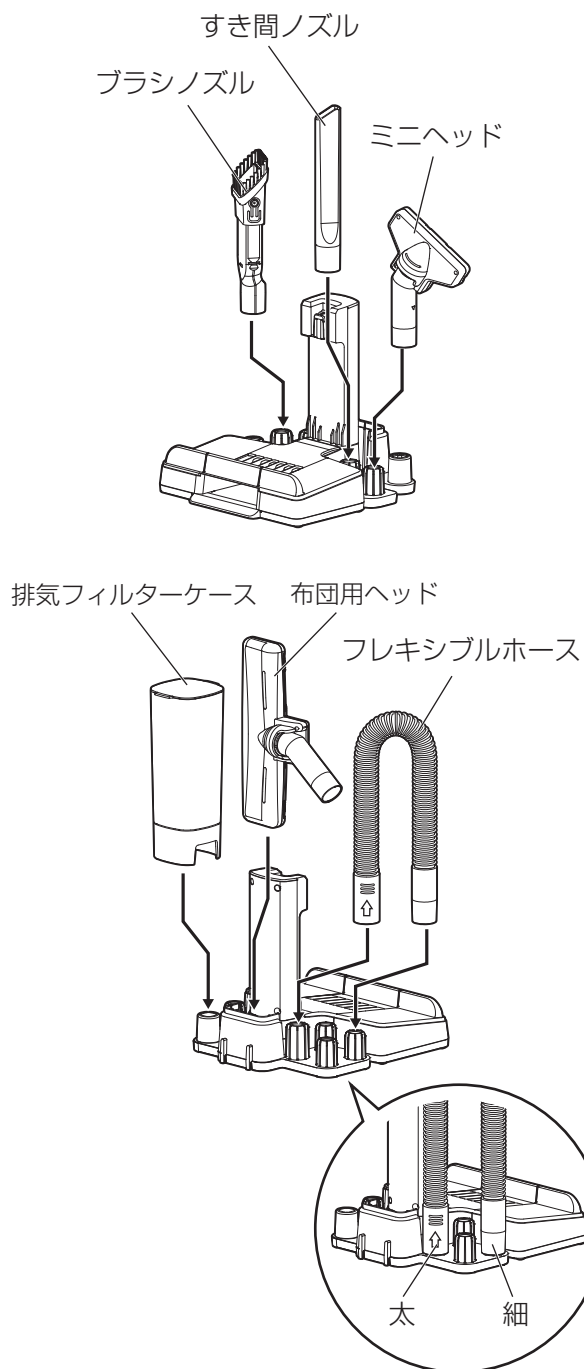


アタッチメントを収納する

・排気フィルターケース・すき間ノズル・ブラシノズル・ミニヘッド・布団用ヘッド・フレキシブルホースは、スタンド横のアタッチメントホルダーに立てておくことができます。

※ 排気フィルターケース、布団用ヘッド、フレキシブルホースは取り付け位置が決まっています。

※ フレキシブルホースは両端の太さが違うので、下図の位置に差し込んでください。



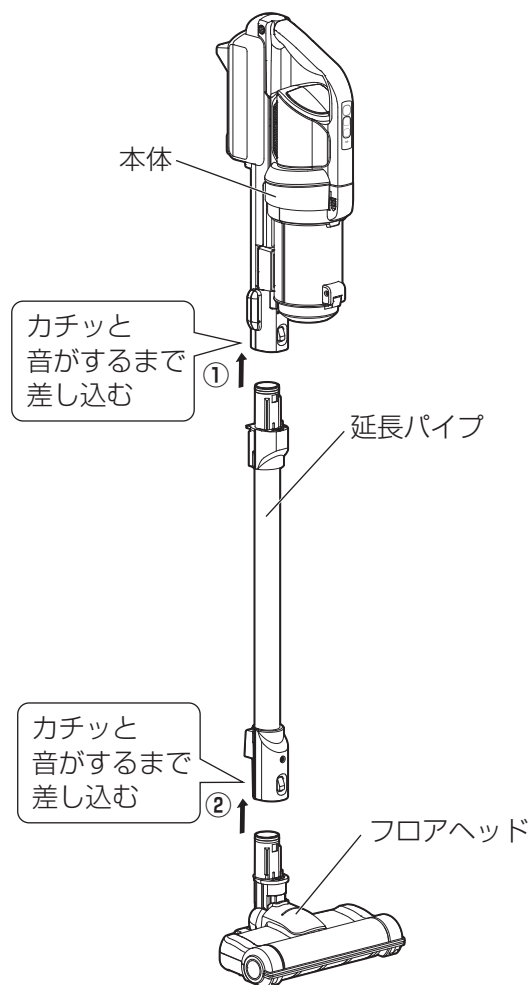
■クリーナーの組み立て

スティッククリーナーとして使用するとき

1 本体・延長パイプ・フロアヘッドを組み立てる

① 本体に延長パイプを差し込んでください。

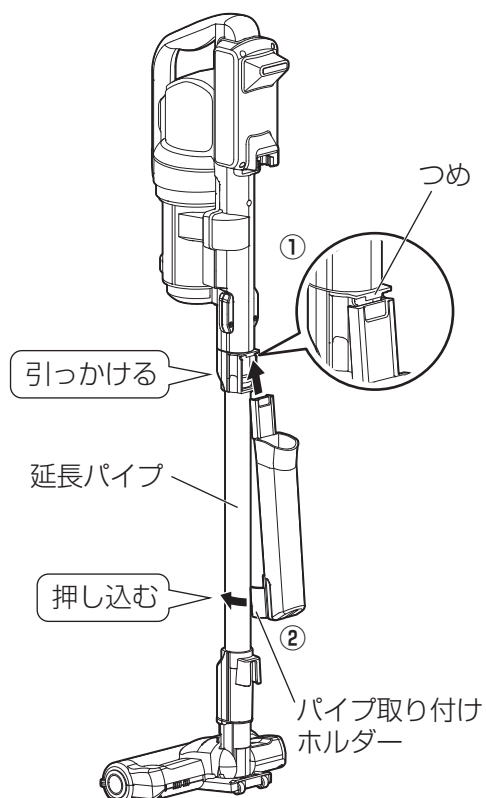
② 延長パイプにフロアヘッドを差し込んでください。



※ 組み立てた後は倒れないようにスタンドに置くか、滑り止めゴムを使用して壁に立てかけてください。

2 モップ帯電ケースを取り付ける

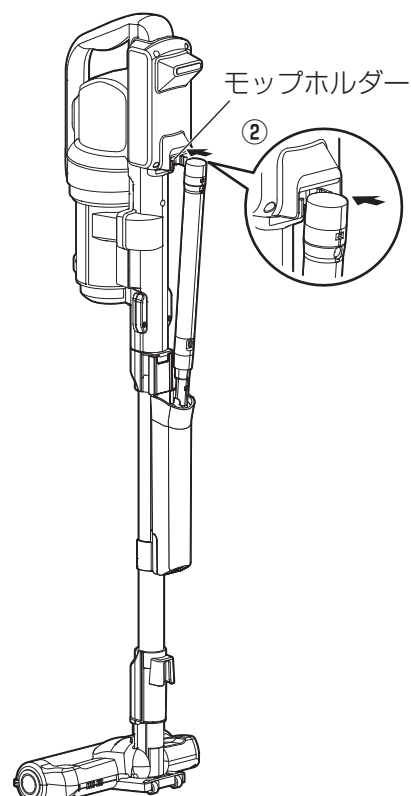
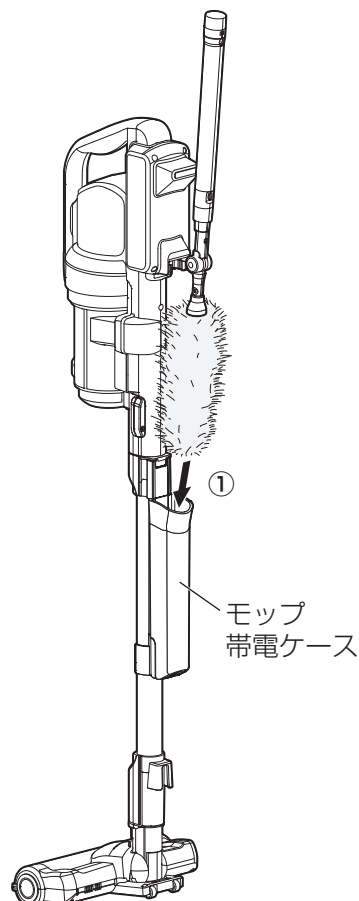
- ①延長パイプ上側のつめに、モップ帯電ケース上端を引っかけます。
- ②モップ帯電ケース下側のパイプ取り付けホルダーをパチンとなるまで押し込んでください。



※ 取り外すときは、モップ帯電ケースの下側を持ち、逆の手順で取り外してください。

モップを収納する

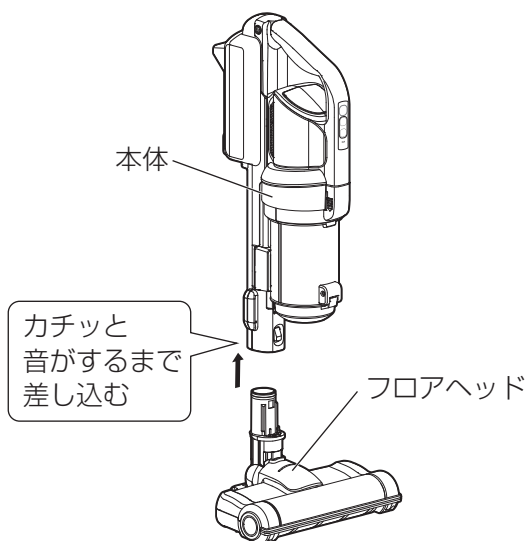
- ①静電モップは、長さを縮めた後、モップ部をモップ帯電ケースに差し込んでください。
- ②静電モップのハンドル根元を本体のモップホルダーに固定してください。



準備 つづき

ハンディクリーナーとして使用するとき

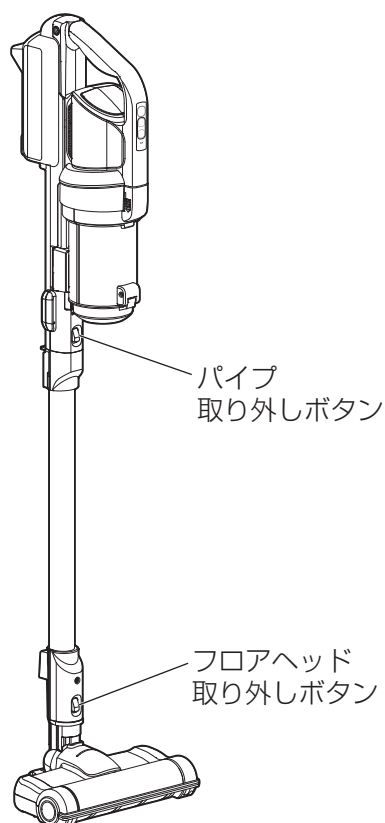
- 本体にフロアヘッドまたは付属のアタッチメントを直接差し込んでください。



※組み立てた後は、倒れないように横に寝かせて置いてください。

延長パイプ・フロアヘッドの取り外しかた

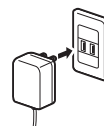
- フロアヘッドを取り外すには、フロアヘッド取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。
- 延長パイプを取り外すには、パイプ取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。



■充電

- 購入時点では、バッテリーは十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。
- 充電完了までにかかる時間は、約3時間半です。

1 充電アダプターをコンセントに差し込む



2 充電プラグを本体につなぐ

充電プラグを、本体上部にある充電コネクタに、奥まで差し込んでください。



- バッテリーランプが点灯し、充電を開始します。



- 充電が完了すると、バッテリーランプは消灯します。

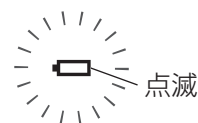


バッテリーについて

- 充電中に、バッテリーや充電アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間・使用時間は、温度や使用状況により変化します。
- 充電は、室温5～35℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- 長期間(10日以上)充電せずに放置したときは、必ず充電してから使用してください。

■バッテリー残量について

- バッテリー残量が少なくなると、バッテリーランプが点滅してお知らせします。



バッテリーランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
ゆっくり点滅後、消灯	残量なし

- ランプが点滅したら充電してください。

使いかた

1 ボタンを押して運転モードを選ぶ

自動モード・セーブモード

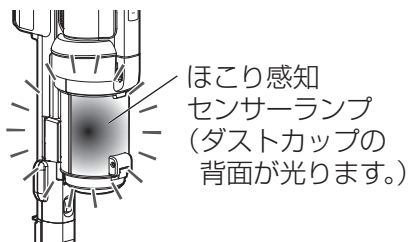
- ・自動・セーブモードボタンを押すと自動モードで運転を開始します。再度自動・セーブモードボタンを押すと、セーブモードに切り替わって運転します。
- ・自動・セーブモードボタンを押すたびに、自動とセーブのモードが切り替わります。



- ・自動モードでは、ほこり感知センサーで感知したごみの量によって、吸引力を調節して運転します。
 - ・セーブモードでは、ソフトローラーブラシを回転させないことにより、自動モードの運転時間を長くします。
- ※じゅうたん・寝具などで使用した場合、遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して吸引力を強くして運転することがあります。

ほこり感知センサー

- ・ほこり感知センサーで感知したごみの量によって、ダストカップ背面のランプの色が変わります。自動・セーブモードで運転中は、ほこり感知センサーランプの色と連動して、吸引力が変わります。



ごみの量	ランプの色	吸引力
多い	赤	強
やや多い	黄	強
少ない	緑	弱

標準・ターボモード

- ・標準・ターボモードボタンを押すと、標準モードで運転を開始します。標準・ターボモードボタンを再度押すと、ターボモードに切り替わって運転します。

標準・ターボモードボタンを押すたびに、標準とターボのモードが切り替わって運転します。

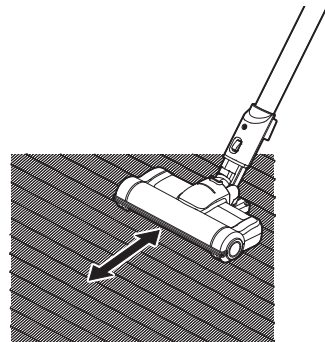


- ・ランプの色をめやすに、標準／ターボを切り替えて使用してください。

2 掃除する

床など

- ・フロアヘッドを使用して、前後にゆっくりと動かしながらごみを吸い取ってください。
- ・たたみを掃除するときは、たたみの目に沿ってフロアヘッドを動かしてください。

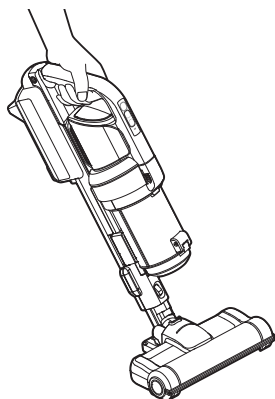


3 掃除が終了したら、切ボタンを押して運転を停止する

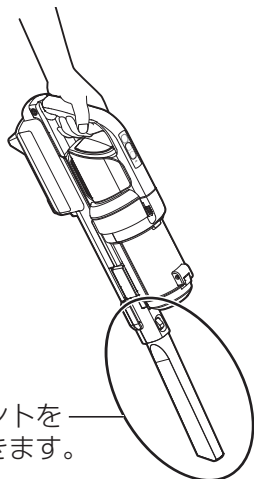


■ハンディクリーナーとして使用する

- ・延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとしても使用することができます。



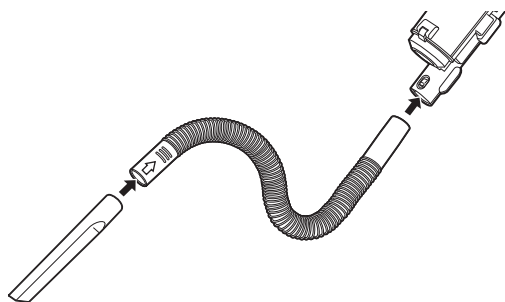
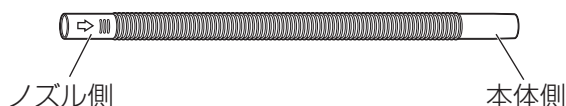
※ 付属のアタッチメント取り付けイメージ



付属のアタッチメントを
取り付けて使用できます。

フレキシブルホースを取り付けかた

- ・ ◀ のマークがある側にノズルを差し込み、反対側を本体に差し込みます。



ブラシノズルの動かしかた

- ・ 左右のボタンを押しながら、ブラシを横にスライドするとノズルが使用できます。

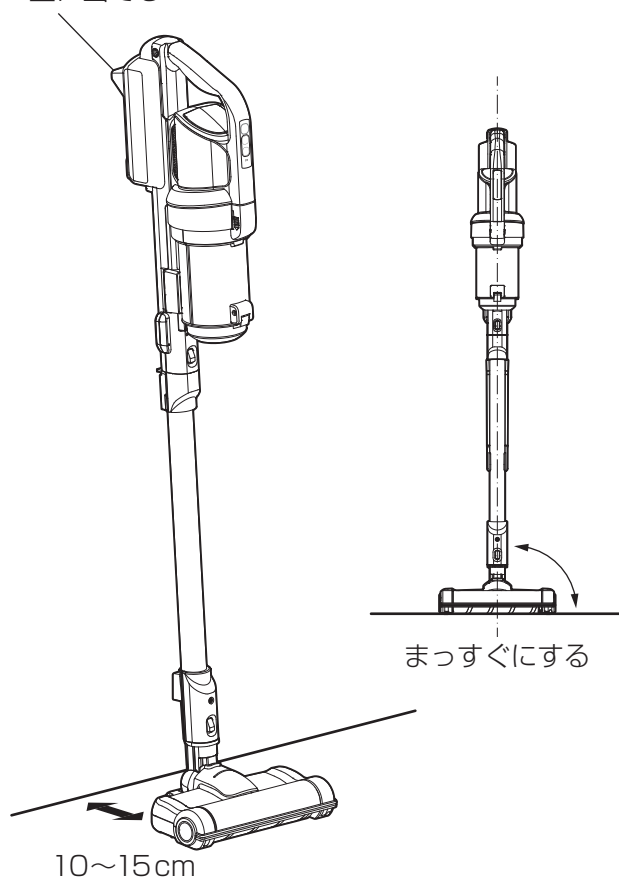


左右のボタンを押しながらスライドさせる

■壁に立てかける

- ・ 滑り止めゴムを壁に当てて立てかけてください。

滑り止めゴムを
壁に当てる



注意

転倒するとけがの原因になります。壁に立てかけるときは、次のことに注意してください。

- 周囲に壊れやすいものを置かないでください。
- 子どもやペットの近づけないところに置いてください。
- 滑りやすい壁には立てかけないでください。滑りやすい場合は、無理に立てかけず、横に置いて充電してください。
- ななめにしたり、フロアヘッドを壁から離しすぎたり、近づけすぎたりしないでください。
- フロアヘッドをさかさまにしたり、ななめにしたりしないでください。

■ごみすて



注意

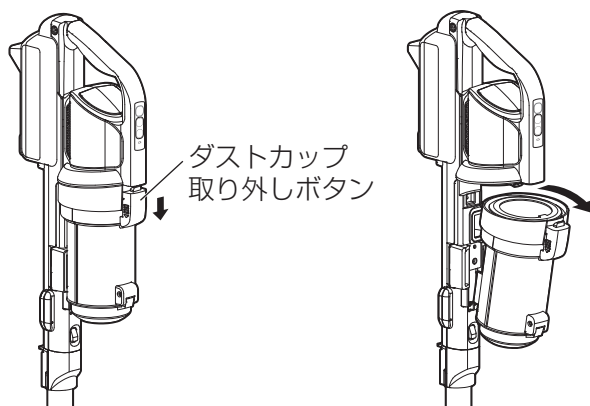
- ごみすては、必ず電源を切り運転を停止してから行ってください。
- 運転中はダストカップを開けないでください。

- ダストカップのごみは、**ごみすてライン**（目安）を超える前にすててください。
- ごみはためずに、掃除のたびにすててください。



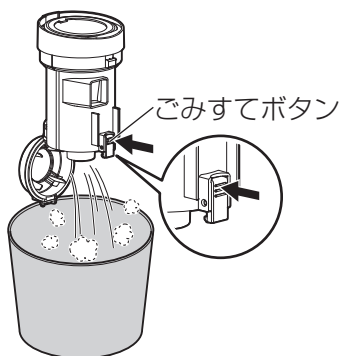
1 ダストカップを取り外す

- ・ダストカップ取り外しボタンを、スライドさせると、ダストカップが外れます。前に引きだすようにして外してください。

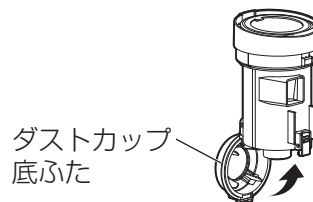


2 ごみをすてる

- ・ダストカップのごみすてボタンを押すと、ダストカップ底ふたが開いて、ごみを落とすことができます。
- ※ごみが飛び散らないように、必ずごみ箱の上で開いてください。

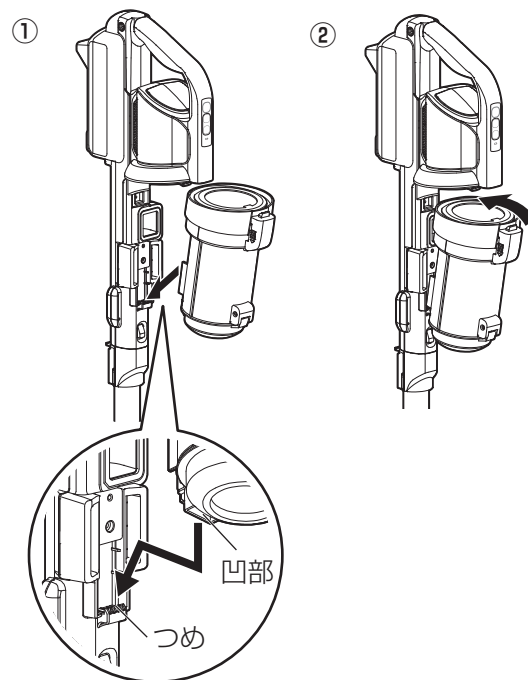


- ・ごみすて後、ダストカップ底ふたを、カチッとなるまでしっかり閉じてください。



3 ダストカップを本体に取り付ける

- ①ダストカップ下端の凹部を本体のつめにひっかけます。
 - ②ダストカップ上部をカチッと鳴るまで押し込みます。
- ※ダストカップ取り外しボタンが、確実に閉まっていることを確認してください。



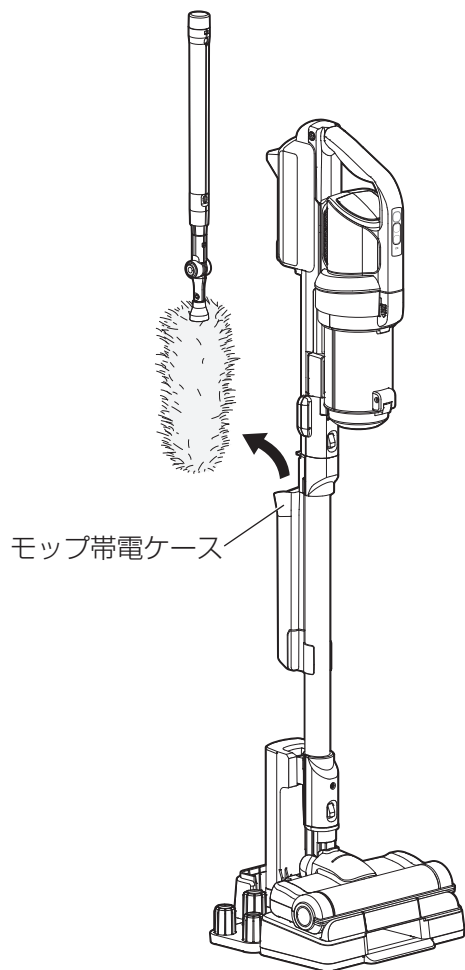
■ 静電モップの使いかた

静電モップは、延長パイプに取り付けた帯電ケースに抜き差しすることで帯電して、効率よくごみやほこりを取り除くことができます。

ごみやほこりを吸着した静電モップを、スタンドの静電モップ用吸い込み口に入れ、前後に動かすと、静電気を除去しながら、静電モップについたごみ・ほこりをクリーナーで吸い取ることができます。

1 静電モップで掃除する

- ・モップ帯電ケースから静電モップを取り外して使用してください。
- ・静電モップは、クリーナーでは届きにくい棚の上などを掃除するのに適しています。



2 クリーナーをスタンドに立てかけて運転する

- ・標準・ターボモードボタンを押してください。

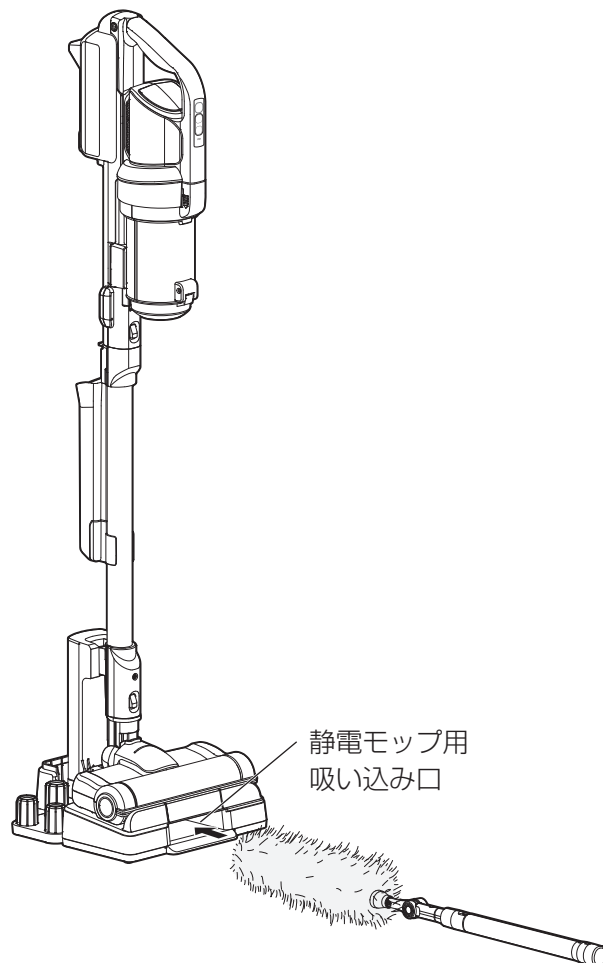
※ごみが取れにくいときは、ターボモードを選んでください。



3 スタンドの静電モップ用吸い込み口に静電モップを差し込み、ごみを吸い取る

- ・静電モップを前後に動かすと、除電プレートで静電気を除去しながら、静電モップの汚れを吸い取ることができます。

※静電モップの掃除は、バッテリーの残量が十分にある状態で行ってください。



4 終了したら、切ボタンを押して運転を停止する



- 終了したら、静電モップをモップ帯電ケースに収納してください。

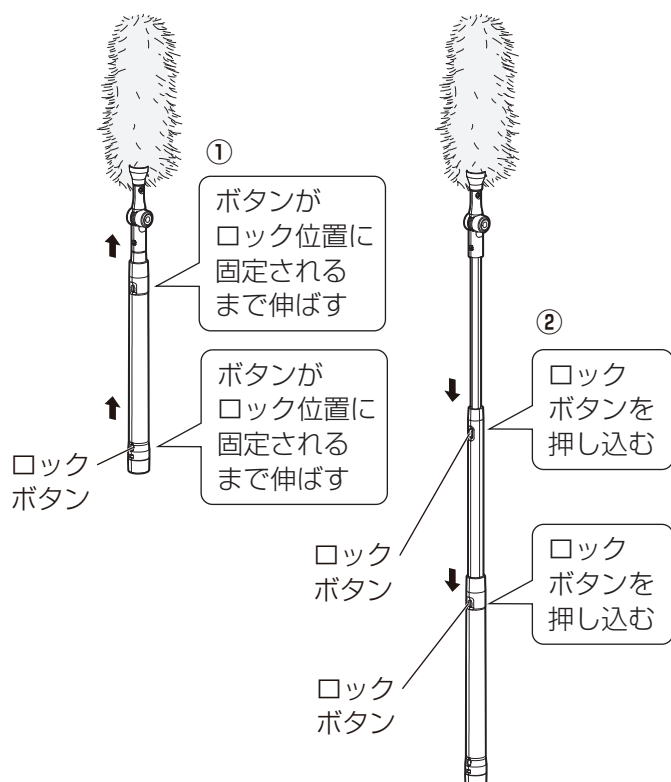
静電モップはハンドルを伸縮することができます。

ハンドルを伸ばすには

- ロックボタンを押しながらモップ部の根元を引っ張り、ロックボタンがハンドルの穴にロックされるまで伸ばしてください。(2か所) (①)

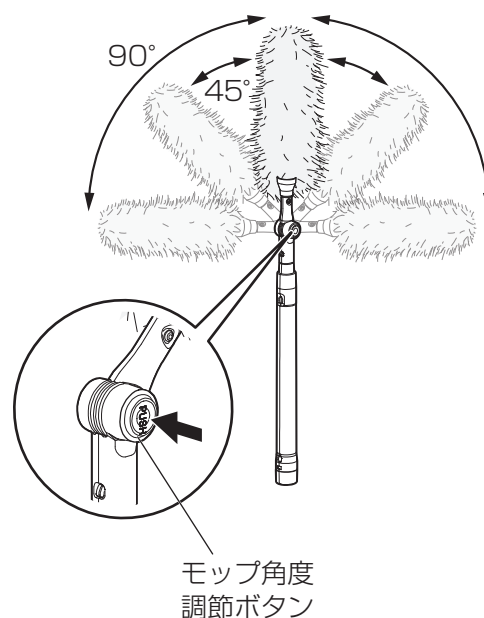
ハンドルを縮めるには

- ロックボタンを押し込みながら、ハンドルを押して縮めてください。(2か所) (②)



静電モップは角度を変えることができます。

- モップ部根元のモップ角度調節ボタンを押しながら、モップの角度を変えてください。モップ角度調節ボタンを放すと、モップ部の角度が固定されます。



お手入れ



注意

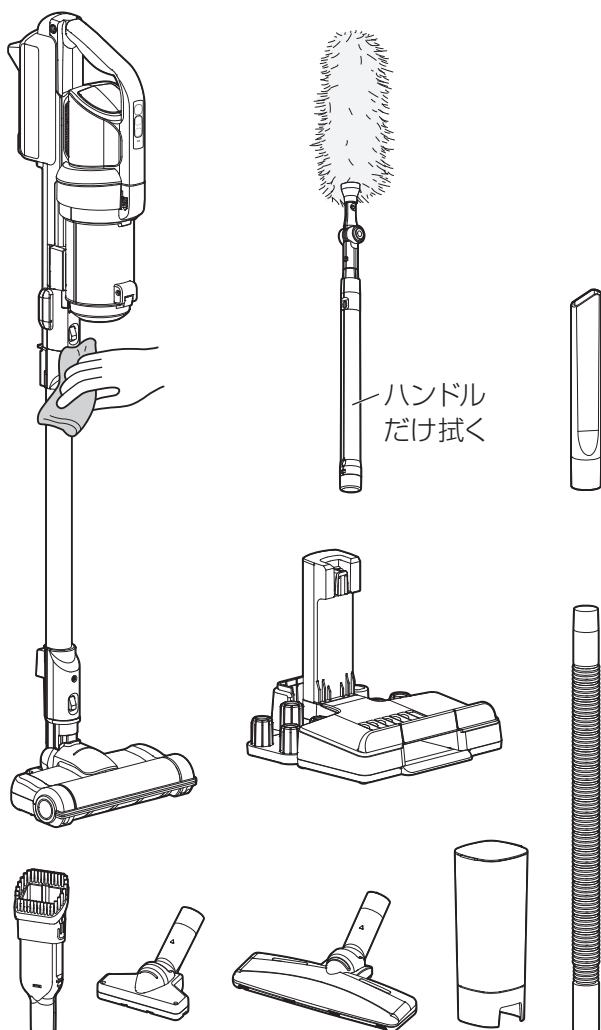
- お手入れは、必ず運転を停止し、スタンドから外し、充電アダプターを抜いて行ってください。
- クリーナー・スタンド・充電アダプターには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

- 化学ぞうきんは使用しないでください。

本体・フロアヘッド外側・スタンド・静電モップのハンドル・その他のアタッチメント 1週間に1回程度

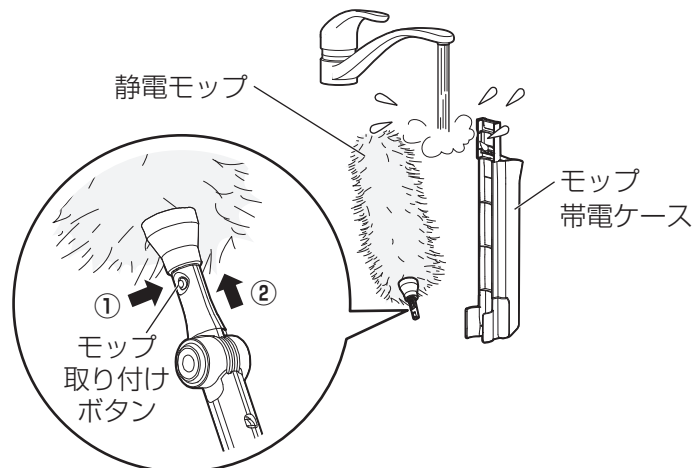
- 水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。



静電モップ・モップ帯電ケース

汚れが目立ってきたら

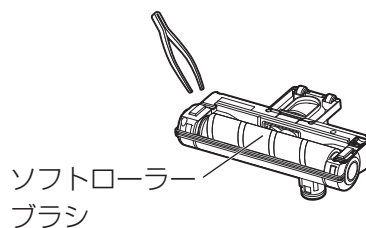
- モップ帯電ケースを水洗いし、よく水を切り、よく乾かしてください。
- 静電モップは、シャフト先端のモップ取り付けボタンを押して取り外します。モップ部を水洗いして、よく水を切り、よく乾かしてください。



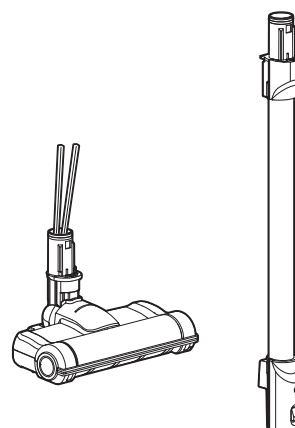
- モップ部を取り外すには、ハンドルのシャフト先端の①モップ取り付けボタンを押しながら、②モップ部を引き抜いてください。指で押しにくいときは、ペン先などで押しってください。

フロアヘッド・延長パイプ ごみがつまったら

- ソフトローラーブラシや吸い込み口にゴミがからみいたら、ピンセットなどで取り除いてください。

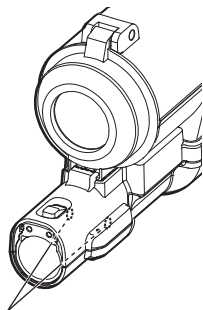


- フロアヘッドや延長パイプ内部にゴミが詰まると吸引力が低下します。定期的に点検して、ゴミが詰まっていたら、ピンセットや割りばしなどでゴミを取り除いてください。



ほこり感知センサー 1週間に1回程度

- 本体吸気口内部左右のセンサーを、綿棒または指にティッシュなどを巻きつけて、拭いてください。
- センサーにごみが付着すると、誤動作の原因になります。定期的に掃除してください。

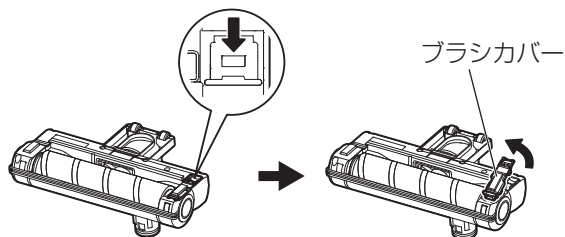


センサー（左右）

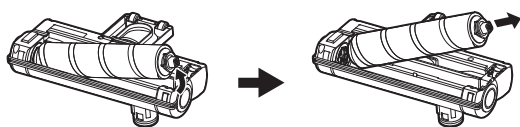
ソフトローラーブラシ 汚れが目立ってきたら

1 ブラシカバーを取り外す

- ブラシカバーのつめを押し下げて手前に引き、ブラシカバーを取り外します。



2 ソフトローラーブラシを外す

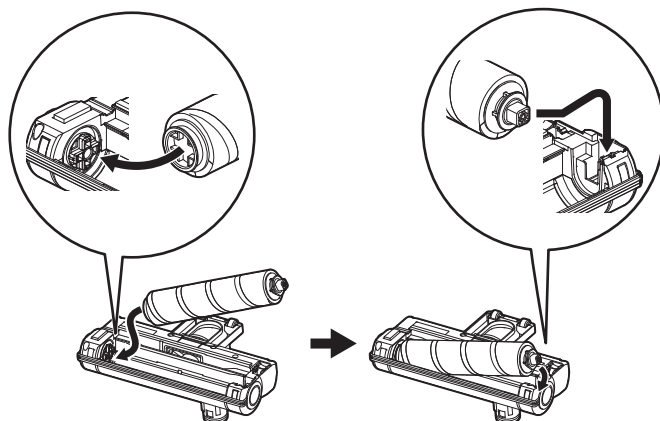


3 ソフトローラーブラシを水洗いする

- ※ ソフトローラーブラシにごみがからみついているときは、水洗いする前にはさみやピンセットなどで取り除いてください。
- 水洗いした後、よく乾かしてください。

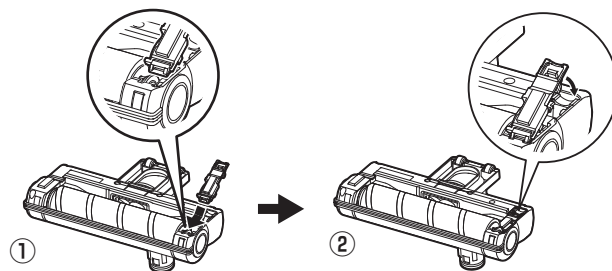


4 ソフトローラーブラシを取り付ける



5 ブラシカバーを取り付ける

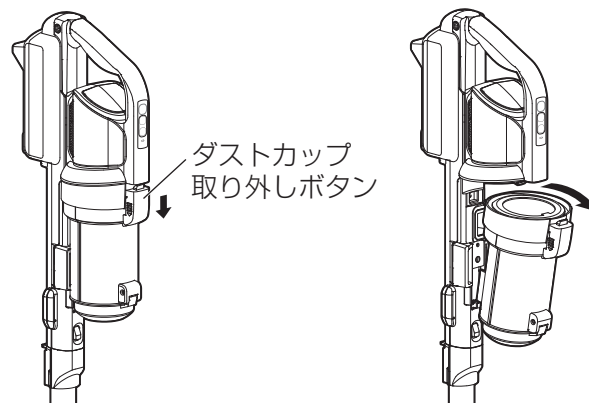
- ① ブラシカバーの先端をフロアヘッドの前端内側に引っかけます。
- ② カチッと音がするまで押し込んで、ブラシカバーを取り付けます。



ダストカップ 2か月に1回程度

1 ダストカップを本体から取り外す

- ダストカップ取り外しボタンを、スライドすると、ダストカップが外れます。前に引きだすようにして外してください。

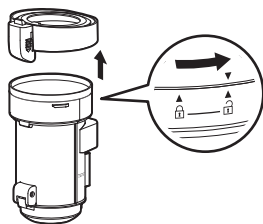


※ ダストカップにごみが入っていたら、すててください。

お手入れ っづき

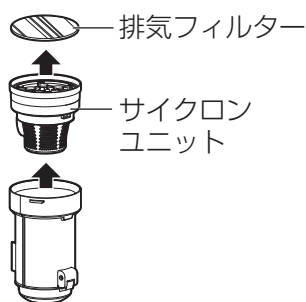
2 ダストカップ上ケースを外す

- 上ケースの▼を下ケースの▲マークまで回して外します。



3 サイクロンユニットを取り出す

- 排気フィルターは、2～3か月を目安に新しいものに交換してください。



4 ごみを落とし、水洗いする

- サイクロンユニットとダストカップケースは、軽くたたいてごみを落とした後、水洗いしてください。

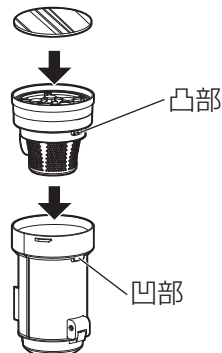


- 水洗いした後、よく水を切り、よく乾かしてください。

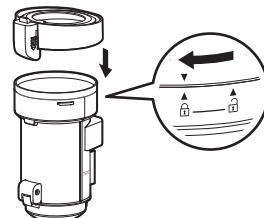
※ 水分が残っていると、吸い込まれてモーターの故障の原因になります。サイクロンユニットは、風通しの良いところで十分に中まで乾燥させてください。

5 逆の手順でダストカップを組み立てる

- ①サイクロンユニットの凸部がダストカップの凹部に合うように、サイクロンユニットをセットします。
- ②その上に排気フィルターをセットします。

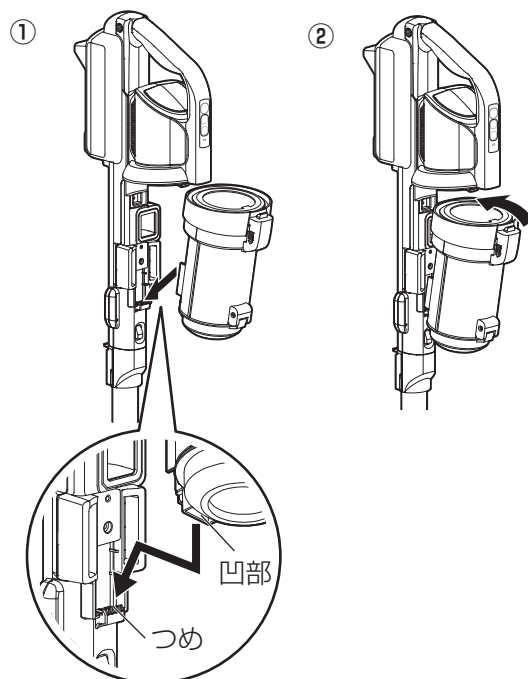


- ③ダストカップ上ケースの▼を、ダストカップケースの▲の位置に合わせて差し込み、▲の位置まで回してください。



6 ダストカップを本体に取り付ける

- ①ダストカップ下端の凹部を本体のつめにひっかけます。
- ②ダストカップ上部をカチッと鳴るまで押し込みます。



製品の廃棄のしかた

本機を廃棄するときは、バッテリーを取り外してから、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

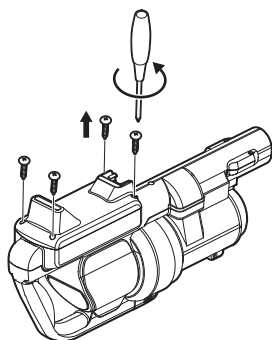
■バッテリーの外しかた

1 本体が完全に動かなくなるまで電池を使い切る

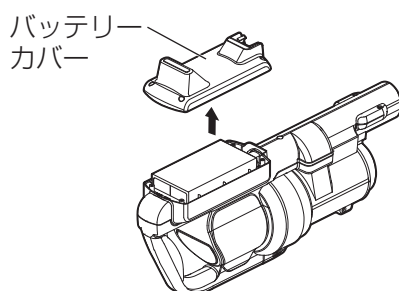
- ・ 運転ボタンを押して、動作しないことを確認してください。

2 バッテリーカバーを外す

①ねじを外します。

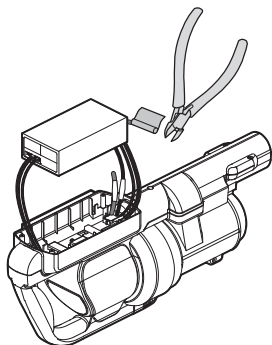


②カバーを外します。



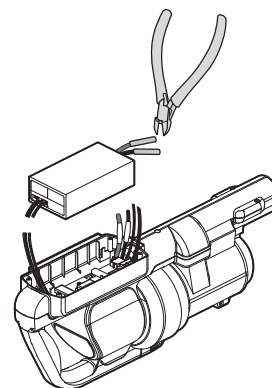
3 赤色のリード線を切りテープで絶縁する

- ・ 電池を引き出し、電池と本体をつないでいる赤色のリード線をニッパーなどで切断し、ビニールテープを巻いて絶縁してください。



4 残りのリード線を切りテープで絶縁する

- ・ リード線を1本切断して、ビニールテープを巻いて絶縁します。
これを繰り返して、全てのリード線を切断してください。



使用済みバッテリーについて

※ 取り外した使用済みバッテリーは、リサイクル協力店にお持ちください。一般家庭ごみとしてすてないでください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (動作しない)	● バッテリーが消耗している	● 本機を充電プラグにつないで、充電してください。
吸引力が弱い	● バッテリーの残量が少ない	● 本機を充電プラグにつないで、充電してください。
	● ダストカップ底ふたがきちんと閉まっていない	● ダストカップ底ふたをきちんと閉めてください (→P13)
吸引力が弱い 運転音大きい	● ダストカップにごみがたまっている	● ごみをすててください。(→P13) ● ごみすてライン以上にごみをためないでください。
	● 排気フィルターが目詰まりしている	● ダストカップを取り外して、排気フィルターを新しいものに交換してください。 (→P17～18)
	● フロアヘッド・延長パイプにごみがつまっている	● フロアヘッド・延長パイプをお手入れしてください。(→P16)
充電しても 運転時間が短い	● 室温が低すぎる場所や、高すぎる場所で充電すると正常に充電できないことがある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
	● バッテリーが寿命に達している	● バッテリーの交換は、修理専用コールへ依頼してください。
充電されない	● 充電アダプターがコンセントに確実に差し込まれていない	● 充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 本体の充電コネクタに充電プラグが確実に差し込まれていない	● 本体上部にある充電コネクタに、充電プラグを確実に差し込んでください。
充電時、バッテリーランプが消えない	● 室温・使用時間などにより充電時間が長くなることもある	● 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
		● 室温・使用時間などにより、充電時間が長くなることがあります。6時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご連絡ください。

状 態	考えられる理由	処 置
ごみを吸っていないのに、ほこり感知センサーが黄色または赤に点灯する	●ほこり感知センサーが汚れている	●ほこり感知センサーを清掃してください。(→P17)
ほこり感知センサーランプが黄色や緑にならない	●じゅうたん・寝具などで使用している	●遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して赤く光ることがあります。
ほこり感知センサーランプが赤くならない	●ヘッドまたはノズルを取り付けずに使用していると、ほこり感知センサーに外光が入って誤動作することがある	●必ずフロアヘッドまたは付属のアタッチメントを取り付けて使用してください。
ほこり感知センサーランプの色が変わったのに、吸引力が変わらない	●標準またはターボモードで運転している	●標準またはターボモードでは、ほこり感知センサーランプの色に関係なく、そのモードで運転します。ほこり感知センサーランプに合わせて吸引力を変えたいときは、自動モードで運転してください。(→P11)
ソフトローラーブラシが止まる	●回転部にゴミやひもが巻きついたり、つまっていたりする	●フロアヘッドをお手入れしてください。(→P16)
充電中、本体や充電アダプターが温くなる	●充電電流が流れているため、バッテリーや回路が少し発熱する	●異常ではありません。
使用中、本体が温くなる	●バッテリーやモーターの発熱のため、本体が少し温くなる	●異常ではありません。
ダストカップが取り付けできない	●ダストカップ下側の凹部が本体のつめに引っかかっていない	●ダストカップ下側の凹部が本体のつめに確実に引っかかるようにしてから、上側を押し込んでください。(→P13)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

バッテリーの交換について

バッテリーの性能が低下して、寿命と思われるときは、修理専用コールへご相談ください。

仕様

集じん容積	ごみすてラインまで	0.3L
	最大容量	0.35L
充電温度		5 ～ 35℃
連続使用時間※1	標準	約20分
	ターボ	約7分
	自動	約30分（使用状態によって異なります）
	セーブ	約50分（使用状態によって異なります）
バッテリー		リチウムイオン2次電池
バッテリー容量		1,300mAh
バッテリー寿命※2		繰り返し充電約1,500回
定格電圧		DC18.5V
充電電源 （充電アダプター）	入力	AC100-240V、50-60Hz
	出力	DC23V、0.5A
充電時間		約3時間半 （室温・使用時間などにより充電時間が長くなることもある）
製品寸法	フロアヘッド・延長パイプ含む （モップ帯電ケース含まず）	幅252×奥行220×高さ1060mm
	スタンド設置時	幅355×奥行295×高さ1150mm
製品質量	本体のみ	1.5kg
	フロアヘッド・延長パイプ含む （モップ帯電ケース含まず）	2.2kg
付属品		スタンド、充電アダプター、静電モップ、モップ帯電ケース、 すき間ノズル、ブラシノズル、ミニヘッド、 布団用ヘッド、フレキシブルホース、排気フィルターケース、 排気フィルター×5枚（1枚は本体内にセット済み）

※1 満充電、バッテリー初期温度：20℃

※2 バッテリーの寿命は周囲の温度・使用頻度など、ご使用の環境や条件により変化します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長年ご使用の充電式スティッククリーナーの点検を！			
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● ボタンを押しても、運転しないときがある ● 充電アダプター・充電コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする ● 充電コードに破れがある ● 運転中に異常な音や振動がする ● その他の異常や故障がある	ご使用中止 故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、充電アダプターを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

充電式サイクロンスティッククリーナー SCD-M1P

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間 ※付属品及び消耗部品を除く	
年 月 日					
お客様	お名前			※販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				
			電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564**（通話料無料）／修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070**（通話料無料）
【お電話での受付時間】 平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00／13:00～17:00（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

633694
240820-KTK-KTK-01
P240820-KTK-QIU-01